

聴覚にハンデのある社員に対し、

本人希望や悩みを一切無視の強制異動！

TAKAO STATION MAIL NEWS

JR東日本輸送サービス労働組合 八王子地本 Vol. 009
 JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION-HACHIOJI 2022.04.10



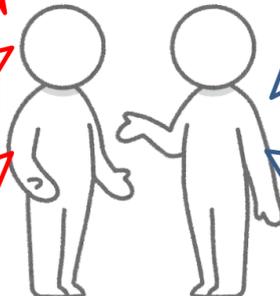
ハンデ(障がい)のある社員に対する やりがい搾取(パワハラ)は許せない！

聴覚にハンデがあるが、窓口業務を担ってきた。
飛沫感染防止シートが入ったことで声が聞き取りづらくなっており、これ以上接客ができない。

接客はむづかしいことから非現業への異動を希望する。

大駅ではお客さまの声を集音マイクを使っても聞き取りづらい。小規模駅ならなんとか。

やり取りイメージ



大丈夫だ！健常者と同じように接客できている！

接客がむづかしいのなら改善する努力をしろ。
非現業への異動については、お前のプライドが許さない働き方しか残らないだろう。

腕があるんだから、その力を発揮してこい！
(密室において支社・管理者3名で囲んで事前通知発令)

言葉巧みに誘導していますが、当該社員は今回の異動で「自分の耳の聞こえなさに悲しくなる日々をあと何年も続けられない」と吐露しています。

障がいの種類・度合いなど本人しかわからないことも多く、雇用する企業は当然一人ひとりにあった労働環境を提供すべきです。

2022年度八王子支社実行計画「変革の先へ～Change Challenge ハチオウジ～」

(9)社員が働きがいを感じ、いきいきと業務を行うことができる環境の実現において②育児・介護・障がい・国籍・LGBTQ等への理解を深める取組みと、職場環境整備の実施と謳っています。このままでは絵に描いた餅どころか、一連の発言・強制異動は障がいをもつ社員へのパワハラともいえます。非現業への異動が実現不可能なことなのではないでしょうか？本人希望が叶うことに問題があるのでしょうか？

輸送サービス労組は弱い立場の味方です！
本人のためにならない人事異動はパワハラだ！
会社は働きやすい環境・異動を実現しろ！

人権無視・コンプライアンス違反を平気で行う
会社に、健全な発展などあり得ない！